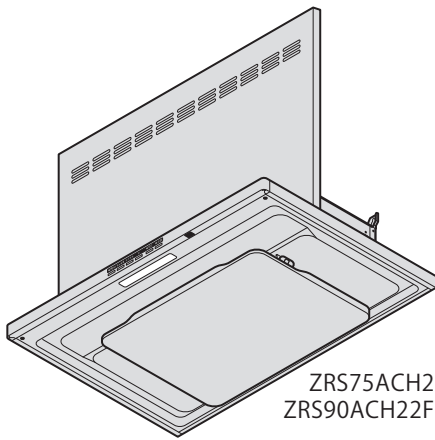
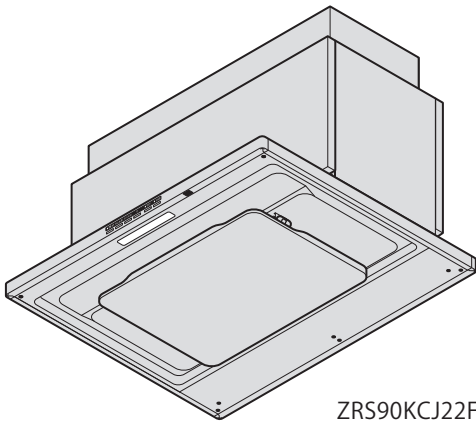


# レンジフード

## 取扱説明書 保証書付



ZRS75ACH22F(S/W/T)Z  
ZRS90ACH22F(S/W/U/T)Z



ZRS90KCJ22F(S/W/T)Z

ZRS75ACH22F(S/W/T) Z  
ZRS90ACH22F(S/W/U/T) Z  
ZRS90KCJ22F(S/W/T) Z

このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

注意記号について .....	1
安全上のご注意 .....	1～2
使用上のお願い .....	3
各部のなまえ .....	4
使いかた .....	5～10
お手入れのしかた .....	11～15
ファンのはずしかた・取り付けかた .....	16～17
故障かなと思ったら .....	18～19
アフターサービス .....	19～20
仕様 .....	21
LED照明の交換について .....	21
保証書 .....	22



# 注意記号について

この説明書には、安全や損害の発生につながる特に重要な注意には、△、⊘、●などの記号をつけて、大切な注意であることを示しております。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

## 絵表示の例



⊘記号は行為を禁止する内容を告げるものです。

⊘の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。⊘の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

# 安全上のご注意

## 必ずお守りください

### この安全上の注意をお読みの上、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しております。
- お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

## 警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります

※LED照明はお客様ご自身でのお取り替えはできません  
光源寿命を迎えた場合は必ず交換作業をご依頼ください



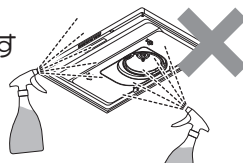
分解・修理・  
改造禁止

- 電気部品(モーター・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電することがあります



水かけ禁止

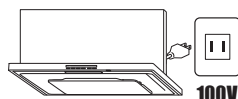


- 交流100V以外では使用しないこと

火災・感電の原因となります



使用禁止



- ガス漏れのときは、スイッチを操作しないこと  
爆発・引火の原因となります



操作禁止

- お手入れの際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す

次に必ず分電盤のレンジフード専用ブレーカーを切ること

その際、ぬれた手で「入/切」しないこと

感電やけがをすることがあります



電源を切る



分電盤

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふくこと

火災の原因となります



ほこりをとる

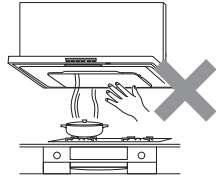
# 安全上のご注意(続き)

## ⚠ 注 意

- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと  
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります



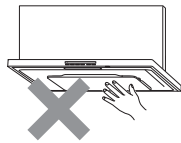
接触禁止



- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと  
けがをすることがあります



接触禁止



- レンジフードに異常な振動が発生した場合、使用しないこと  
レンジフードや部品の落下により、けがをすることがあります



使用禁止

- レンジフードの上に物を置かないこと  
落下によりけがをすることがあります



禁 止



- 整流板を本体から取りはずさずに、図のような状態でお手入れをしないこと  
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因となります



禁 止



- 点灯中のLED照明を直視しないこと  
目を痛めることがあります

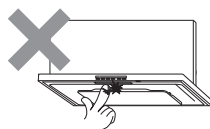


直視禁止

- 照明およびその周辺には、手を触れないこと  
高温になるため、やけどをすることがあります



接触禁止



- 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること  
運転をしていると、火の勢いがより強くなり火災の原因となります



運転停止



- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用ブレーカーを切ること  
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります



プラグを抜く



分電盤

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと  
電源コードにキズがつき、火災や感電の原因となります



プラグを  
持って抜く



- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



手袋をする



- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること  
落下によりけがをすることがあります

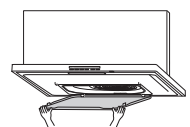


両手で支える

- お手入れの際に、はずしたファンや部品の取り付けは確実にこなうこと  
落下によりけがをすることがあります



取付注意

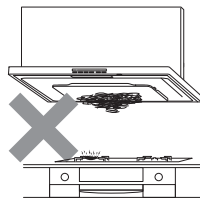


# 使用上のお願い

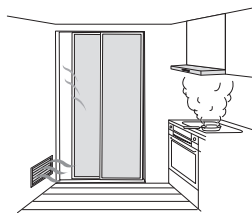
- 調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください  
運転しないとレンジフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- 調理機器の空焚きは絶対にしないでください  
レンジフードの損傷や高熱による故障の原因となります

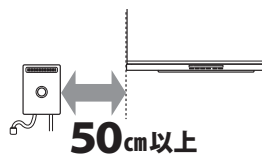


- レンジフードの運転中は給気をおこなってください  
レンジフードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください  
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります



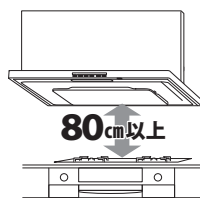
- エアコンの風が直接あたらないようにしてください  
風を受けると、吸い込みが悪くなります  
オープンな場所では特にフードから漏れやすくなります

- 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください  
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けしないでください

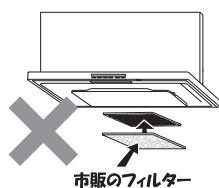


レンジフードの損傷や高熱による故障の原因となります

- 調理機器の真上、80cm以上に取り付けてあるか確認してください  
火災予防のため、グリスフィルター（本製品ではリーフプレート）の下端が調理機器の真上、80cm以上に設けてください



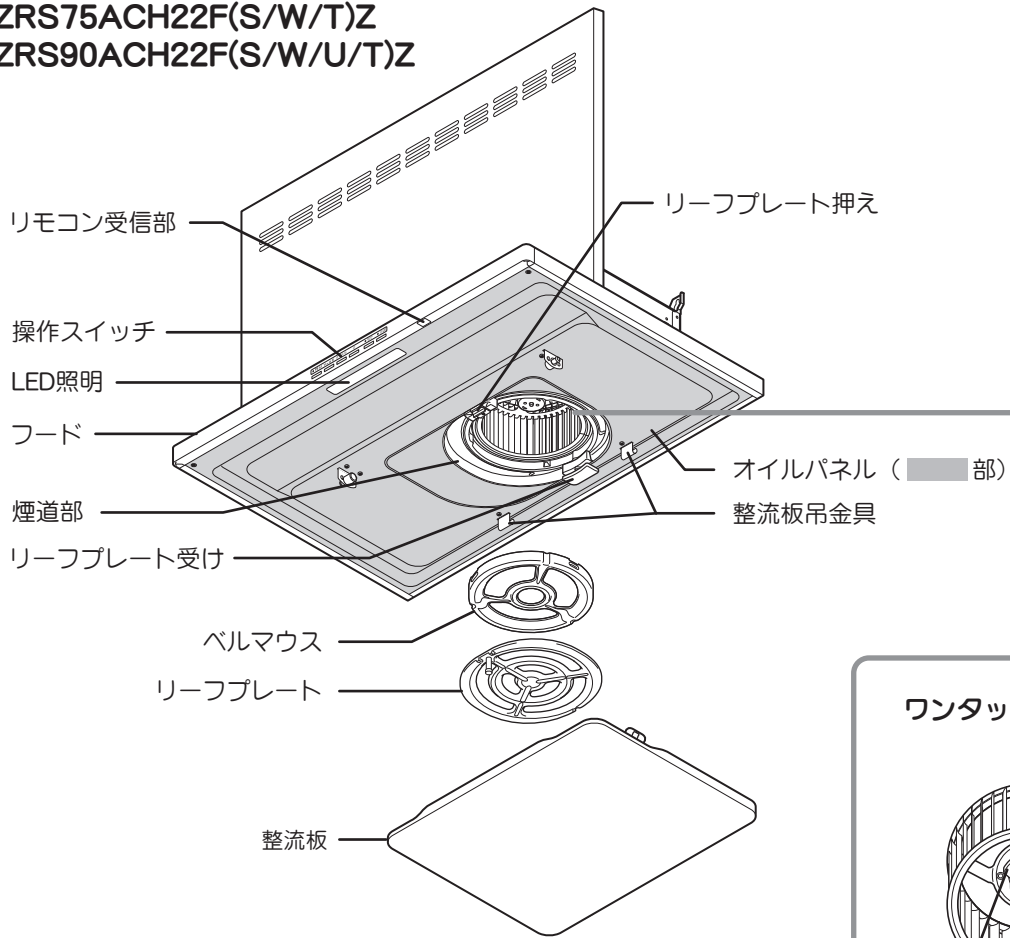
- 市販のフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください  
吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります  
性能を維持するため、専用のリーフプレート（製品にあらかじめセットしてあるもの）をご使用ください



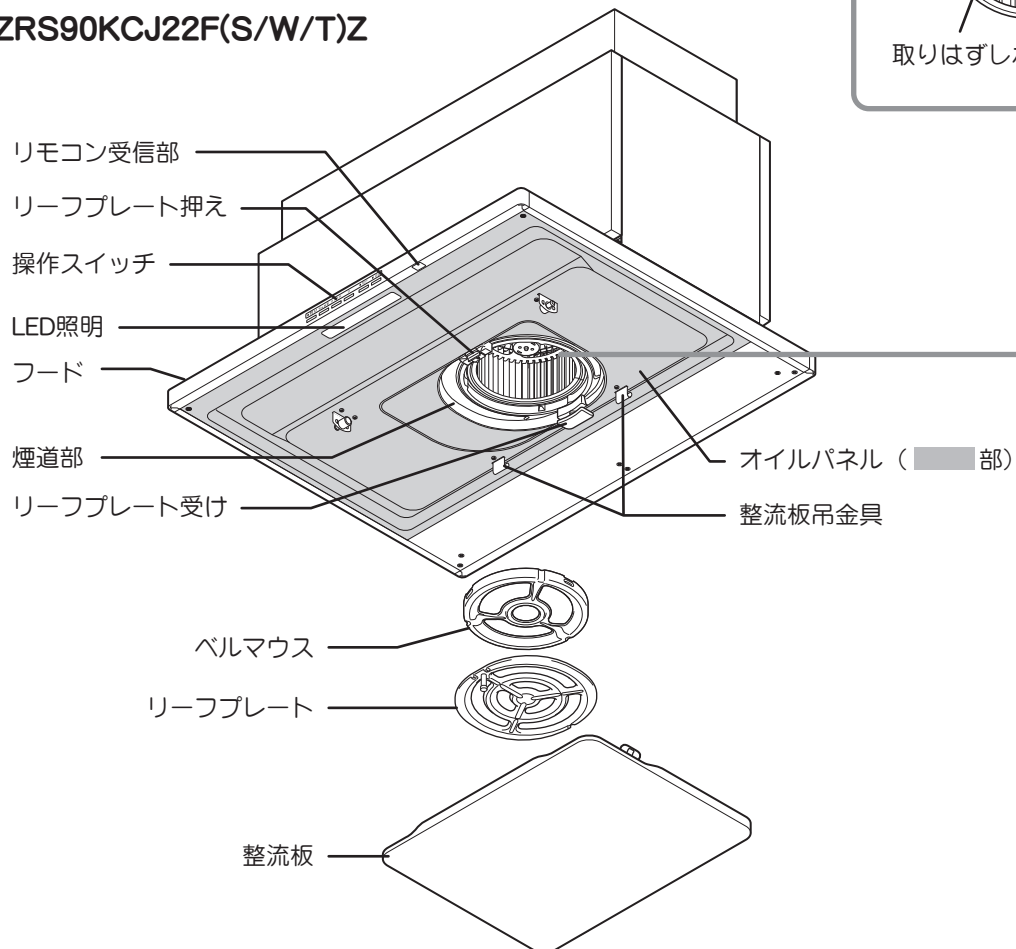
- 整流板をはずして使用しないでください  
吸い込みが悪くなります
- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります  
レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください
- レンジフードの照明を点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されますと、雑音が入る場合があります  
その際はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください
- 調理機器使用時はレンジフード表面や壁パネルに結露（水滴）が生じることがあります。その際は滴下する前にふき取ってご使用ください。  
特に冬季など室温の低い状況やIHクッキングヒーター使用時は、結露が発生しやすくなります  
また、調理機器のグリルご使用時は、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはレンジフード表面が結露することがあります
- 照明は明るくなるまでに時間がかかります  
また、点灯後しばらくは明るさや光色が若干変化します
- 運転中に壁スイッチ・電源プラグ・ブレーカーなどでレンジフードの通電を遮断しないでください  
突然通電が遮断されると、お手入れ時期を正しくお知らせできなくなります
- テレビ・エアコンなどのワイヤレス発信器を操作しているときは、調理機器連動機能が正常に動作しない場合がありますが、故障ではありません
- 連動信号受信部と照明器具を近づけすぎないでください  
照明器具が連動信号受信部から1m以内に設置された場合、リモコン操作や調理機器との連動機能が正常に動作しないことがあります
- グリスフィルター（リーフプレート）をはずして使用しないでください  
油の捕集が悪くなります
- ファンをはずした状態でモーターを回転させないでください  
回転数が増え、モーターが焼き付いて故障の原因となります

# 各部のなまえ

## ■ ZRS75ACH22F(S/W/T)Z ZRS90ACH22F(S/W/U/T)Z



## ■ ZRS90KCJ22F(S/W/T)Z



# 使いかた

## 操作スイッチ

※レンジフードの操作には別売のリモコン(品名:ZZRMC07)もご使用になれます。  
(リモコンのスイッチでは一部、操作ができない内容があります。詳細は各スイッチをご確認ください。)

### 運転入/切スイッチ

#### ● 運転する

運転停止中にスイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り、前回停止時の風量でレンジフードの運転を開始します(ランプ点灯)。

※ 常時換気運転に設定している場合でも、スイッチを押すとレンジフードの運転に切り替わります。



#### ● 運転を停止する

運転中にスイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り直ちに運転を停止します。  
常時換気運転に設定している場合は常時換気運転に切り替わります(ランプ消灯)。

#### ● スイッチを「ロック」する ※リモコン操作不可

スイッチを長押し(約3秒間)すると「ピッ」と音が鳴り、操作機能すべてを停止し、操作スイッチを「ロック」します。「ロック」中は運転入/切ランプとタイマーの15分表示ランプが交互に点滅します。

※ リモコンのスイッチからは「ロック」できません。



#### ● 「ロック」を解除する ※リモコン操作不可

「ロック」中にスイッチを長押し(約3秒間)すると「ピーッ」と音が鳴り、「ロック」を解除し通常の状態に戻ります。

※ リモコンのスイッチからは解除できません。解除後は必要に応じて各種機能の再操作をしてください。



#### スイッチがロックしている時…

操作スイッチを押しても「ピピピッ」と警告音が鳴り、風量ランプが点滅します。操作スイッチの他、リモコンスイッチや調理機器との連動も受け付けません。



### 風量スイッチ

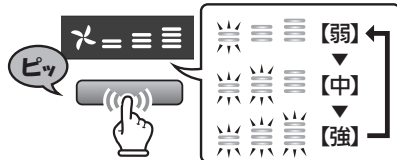
#### ● 風量を調整する

運転中にスイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り、風量が切り替わります(該当するランプが点灯)。

弱… 煙の少ないとき、静かに運転したいとき。

中… 通常の運転のとき。

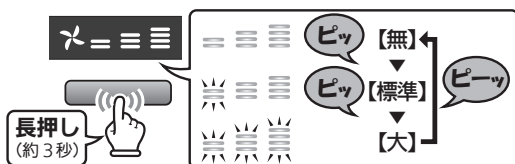
強… 煙の多いとき、早く換気したいとき。



#### ● 操作音量を調整する(→10ページ) ※リモコン操作不可

運転停止中にスイッチを長押し(約3秒間)すると「ピッ」と音が鳴り、操作音量が切り替わります(該当するランプが点灯)。

※ 無音設定時は「ピーッ」と音が鳴ります。



### 照明スイッチ

#### ● LED照明を点灯/消灯する

スイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り、照明が点灯します。

スイッチを押すたびに点灯/消灯を繰り返します。

#### ● 照明連動を設定/解除する

(→9ページ) ※リモコン操作不可

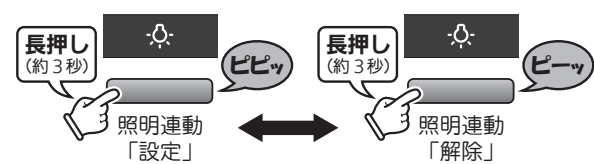
運転停止中にスイッチを長押し(約3秒間)すると、「ピピッ」と音が鳴り、調理機器との「照明連動」を設定します。

スイッチを長押しするたびに設定/解除を繰り返します。

※ 常時換気運転中でも照明連動の設定/解除はできます。

※ 解除時は「ピーッ」と音が鳴ります。

※ 工場出荷時:解除



# 使いかた(続き)

## 操作スイッチ

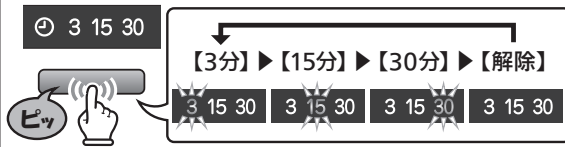
### タイマースイッチ

運転中にスイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り、表示された時間運転し続けたあと、自動的に運転を停止します。

スイッチを押すたびに「ピッ」と音が鳴り、3分、15分、30分、解除と時間が切り替わります(該当するランプを点滅)。

調理後のにおいやファンについた油汚れを落としますので通常、調理が終わったあとは、スイッチを押してください。

※タイマー運転は調理後のにおいやファンについた油汚れをすべて除去するわけではありません。



### ● タイマー記憶を設定／解除する

運転停止中にスイッチを長押し(約3秒間)すると「ピピッ」と音が鳴り、「タイマー記憶」を設定します。

スイッチを長押しするたびに設定／解除を繰り返します。

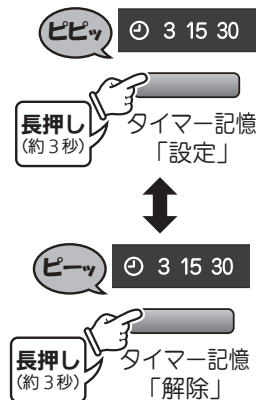
タイマー記憶の設定中は、スイッチを押すと前回停止時の時間が表示されます。

(タイマー記憶の解除時は、スイッチを押すと「3分」が表示されます。)

専用調理機器との連動の際も前回停止時の設定時間を記憶します(9ページ参照)。

※ 常時換気運転中でもタイマー記憶の設定／解除はできます。  
※ 解除時は「ピーッ」と音が鳴ります。  
※ 工場出荷時:解除

※リモコン操作不可



### 常時換気スイッチ

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。

調理やお手入れの際を除き、連続換気ができます。(風量は「弱」よりも少ない微弱風量で運転します。)

### ● 常時換気運転を設定する ※リモコン操作不可

運転停止中にスイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り、常時換気運転に設定します(ランプ点灯)。

※ 常時換気運転中(ランプ点灯)に運転入／切スイッチを押すと、レンジフード運転に切り替わり、設定した風量で運転し続けます。運転「切」後、タイマー運転後、切り忘れ防止タイマー後に常時換気運転に切り替わります。

※ レンジフード運転時に常時換気運転の設定／解除はできません。(レンジフード機能が優先されます。)

※ 専用調理機器と連動運転の場合も同様です。



### ● 常時換気運転を解除する ※リモコン操作不可

常時換気運転中(ランプ点灯)にスイッチを長押し(約3秒間)すると「ピッ」と音が鳴り、常時換気運転を解除します(ランプ消灯)。



### お手入れサインスイッチ

設定したお手入れ時期になると、ランプ表示でお知らせします(7ページ参照)。

お手入れサインが点灯したら、リーフプレート・ベルマウスや煙道部などのお手入れをしてください(「お手入れのしかた」11~15ページ参照)。

お手入れ時期がくるとランプが点灯します



### ● お手入れサインを消灯する

※リモコン操作不可

お手入れサインが点灯した際、運転停止中にスイッチを押すと、お手入れサインが消灯しご使用(運転)時間のカウントを最初からやり直します。お手入れをしたあとに押してください。

※ 常時換気運転中でも消灯することができます。

### ● ご使用(運転)時間(\*)のカウントをやりなおす ※リモコン操作不可

お手入れサイン消灯時、運転停止中にスイッチを長押し(約3秒間)すると、ご使用(運転)時間(\*)を最初からやりなおします。お知らせ前(点灯前)にお手入れをした際におこなってください。

※ 常時換気運転中はカウントをやり直すことができません。常時換気運転を解除してから操作をおこなってください。

(\*) 常時換気運転はご使用時間に含まれません。

### お願い

● 点灯時期が早い、または遅い場合はお手入れサイン表示時期の設定を変更してください(7~8ページ参照)。

# 使いかた(続き)

## ■ お手入れサイン

1日のご使用(運転)時間(\*)をカウントすることにより、お手入れ時期(およそ30日後)にランプが点灯してお知らせします。

お手入れサインが点灯したら、リーフプレート・ベルマウスや煙道部などのお手入れをしてください(11~15ページ参照)。

お手入れが済みましたらお手入れサインスイッチを押してランプを消灯してください(6ページ参照)。

(\*) 常時換気運転はご使用(運転)時間に含まれません。

※ お手入れサインの表示時期は工場出荷時【標準】に設定されていますが、「設定の目安」を参考にレンジフードのご使用頻度に適した設定に変更できます。

※ 設定を変更する場合は8ページを参照ください。

### 設定の目安

1日のご使用(運転)時間	設定	設定時間	点灯時期
1 時間程度	【最短】	30 時間	およそ 30 日後点灯
2 時間程度	【短】	60 時間	およそ 30 日後点灯
6.6 時間程度	【標準】	200 時間	およそ 30 日後点灯
10 時間程度	【長】	300 時間	およそ 30 日後点灯
—	【解除】	お手入れサイン機能解除	点灯しません

※表はお手入れの周期を30日とした場合の設定の目安です。

例) 1日2時間程度レンジフードを運転し、30日(1ヶ月)運転した場合

$$2\text{時間}(1\text{日運転時間}) \times 30\text{日}(1\text{ヶ月使用日数}) = 60\text{時間}(設定時間) \dots \text{【短】}$$

### お願い

- お手入れの周期は30日をおすすめします。
- 再設定したときからご使用(運転)時間のカウントをやり直します。
- レンジフードの電源プラグをコンセントから抜いたりブレーカーを切っても、それまでにカウントしていた時間は記憶されています。  
ランプが点灯する前にお手入れをされた等の理由によりカウントをやり直したい場合は、お手入れサインのスイッチを操作していただくか(6ページ参照)、お手入れ時期設定を変更してください(8ページ参照)。
- 運転中の状態(照明のみの点灯、および常時換気運転を除く)から、壁スイッチ・電源プラグ・ブレーカーなどで通電を遮断すると、カウント時間に誤差が生じるため、必ずタイマースイッチまたは運転入/切スイッチを押すか、リモコン(連動タイプの専用調理機器を含む)の操作にて運転を停止させてください。
- 点灯時期が早い、または遅い場合はお手入れ時期の設定を変更してください。



# 使いかた(続き)

## ■ お手入れサイン(続き)

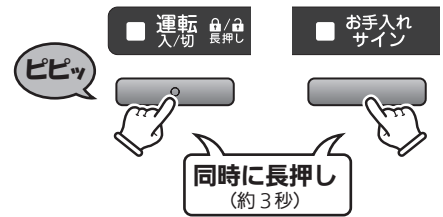
表示時期の設定のしかた ※リモコン操作不可

**1** 運転入/切スイッチを押し、レンジフードの運転を停止する

※ 常時換気運転を解除する必要はありません。

**2** お手入れサインスイッチ・運転入/切スイッチを同時に長押し(約3秒間)する

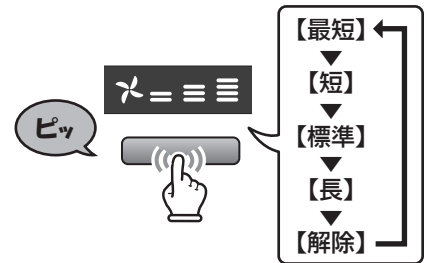
「ピピッ」と音が鳴り、表示時期の設定中となります。設定中はお手入れサインが点滅します。



**3** 風量スイッチを押して設定を変更する

お手入れサイン点滅中に風量スイッチを押すと「ピッ」と音が鳴り、設定が切り替わります。

ご使用頻度に適した設定になるまで繰り返し風量スイッチを押してください。



設定	表示ランプ
【最短】	⦿ ≡ ≡
【短】	⦿ ⦿ ≡
【標準】	≡ ⦿ ≡
【長】	≡ ≡ ⦿
【解除】	≡ ≡ ≡

※ 設定中に10秒間何も操作をおこなわないと設定の変更はキャンセルされ、設定変更操作前の状態に戻ります。また、設定中に運転入/切スイッチを押した際も設定変更がキャンセルされ、設定変更操作前に戻ります。設定を変更する場合は再度設定をやり直してください。

**4** お手入れサインスイッチを押す

ご使用頻度に適した設定が表示された状態でお手入れサインスイッチを押すと「ピーッ」と音が鳴り、設定が完了し、お手入れサインが消灯後、ご使用(運転)時間のカウントを開始します。



# 使いかた(続き)

## 調理機器との連動機能

レンジフード連動タイプの専用調理機器と組み合わせてご使用になる場合、次の動作をおこないます。

- 専用調理機器を点火すると、レンジフードは自動的に前回停止時の風量で運転します。  
この状態からレンジフードのスイッチ操作(運転入/切、風量切替、タイマー、照明)がおこなえます。
- タイマー記憶が解除されている場合、専用調理機器を消火すると、レンジフードはそのままの風量で約3分間運転し続けたあと、自動的に運転を停止します。  
常時換気運転の設定をしている場合は、常時換気運転に切り替わります。  
タイマー記憶を設定すると前回停止時の設定時間に変更できます(6ページ参照)。  
工場出荷時はタイマー記憶が解除されています。
- 専用調理機器の点火・消火に合わせて照明の点灯/消灯をするように変更できます(「照明連動」)。  
照明連動の設定/解除は照明スイッチの操作で選択できます(5ページ・本ページ下記参照)。
- レンジフードの風量切替および照明の点灯/消灯などの操作は、専用調理機器の操作パネルでもおこなえます。(詳細については、専用調理機器の取扱説明書をご覧ください)。  
※ 専用調理機器に付属している取扱説明書の記載内容と異なる場合があります。  
※ リモコンの発信部やフードのリモコン受信部が油で汚れている場合は、連動しにくい場合があります。  
※ 専用調理機器でレンジフード自動風量切替機能があるものは専用調理機器が優先されます。

### お願い

- 連動機能が故障などで一定期間使用できない場合や、外部環境の影響などで連動しにくい場合は、レンジフード側のスイッチで操作してください。
- 専用調理機器については裏表紙に記載のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。(※当社カタログ製品に限ります。)
- 対応する調理機器はNECフォーマットの赤外線信号(38kHz)を発信する機種に限定されます。

## 照明連動

レンジフード連動タイプの専用調理機器の点火・消火に合わせて照明の点灯/消灯をするように変更できます。

※工場出荷時は照明連動の設定が解除されています。

### 【設定】

運転停止中に照明スイッチを長押し(約3秒間)すると、「ピピッ」と音が鳴り、調理機器との「照明連動」を設定します。

調理機器の点火・消火に合わせて照明の点灯/消灯をおこないます。

### 【解除】

運転停止中に照明スイッチを長押し(約3秒間)すると、「ピーッ」と音が鳴り、調理機器との「照明連動」を解除します。

調理機器の点火・消火に合わせた照明の点灯/消灯をおこないません。



# 使いかた(続き)

## ■ 切り忘れ防止タイマー

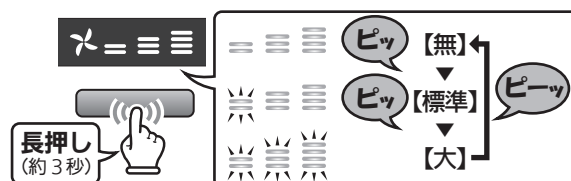
このレンジフードは、最後に操作したときから約5時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。

常時換気運転の設定をしている場合は、約5時間後に照明が消え、常時換気運転に切り替わります。再び運転するときは、運転入/切スイッチを押してください。

## ■ 操作音量

### ● 操作音量の切り替えかた ※リモコン操作不可

運転停止中に風量スイッチを長押し(約3秒間)すると「ピッ」または「ピーッ」と音が鳴り、音量が切り替わります(該当するランプが点灯)。



設定の切り替えが完了すると、該当するランプが消灯します。

設定したい操作音量になるまで、繰り返しスイッチを押してください。

工場出荷時は【標準】に設定されています。

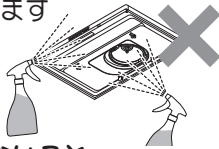
# お手入れのしかた

## 警告

- 電気部品(モーター・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと  
ショート・感電することがあります



水かけ禁止



- ぬれた手でスイッチを操作しないこと
- 調理機器の使用中は絶対にお手入れはしないこと  
感電やけがをすることがあります



接触禁止

- お手入れの際は、必ずリモコン(別売)のスイッチを「切」にし、リモコンをお子様手の届かない所に置くこと  
次に、分電盤のレンジフード専用のブレーカーを切ること  
(完了後は再び分電盤のレンジフード専用のブレーカーを「入」にしてください)



電源を切る



分電盤

## 注意

- 回転中のファンに触らないこと



接触禁止

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



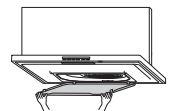
手袋をする



- お手入れの際に、はずしたファンや部品の取り付けは確実に  
おこなうこと  
落下によりけがをすることがあります



取付注意



- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさない  
ように両手でしっかりと支えること  
落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因となります



落下注意

## お手入れの際のお願い

- 調理直後のお手入れはしない  
・ 調理直後はレンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- 油や水ダレに注意する  
・ 部品の取りはずしの際は、油や水滴がたまっている場合がありますのでご注意ください。
- お手入れはこまめにする  
・ 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因となります。(変質がひどいと擦っただけではがれることがあります)  
・ 特に、リーフプレート・ベルマウス・煙道部は汚れやすいので、1ヶ月に1回程度の目安でお手入れをしてください。

- 中性洗剤を使う  
・ お手入れの際には、台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと、塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりすることがあります。



- 熱湯は変形のもと  
・ 60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形することがあります。
- 専用のリーフプレート(製品にあらかじめセットしてあるもの)を使う、他のフィルターを重ねない  
・ 専用のリーフプレート以外のフィルターを使用したり、他のフィルターを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因となります。また、金属以外のフィルターをご使用になると火災の原因となることがありますので、それらの使用は絶対にやめてください。
- ファンを変形させない  
・ ぶついたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生することがあります。
- ファンをはずした状態では運転しない  
・ ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因となります。
- 食器洗い乾燥機は使用しない  
・ 取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装はがれることがあります。

# お手入れのしかた(続き)

こまめにお手入れをしてください。

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、油が固まって汚れが落ちにくくなります。

特にリーフプレート・ベルマウス・煙道部は1ヶ月に1回程度の目安でお手入れをしてください。

(ご使用の状況により、汚れの具合が異なります。)

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因となります。

## お手入れ時期の目安

### ■ リーフプレート・ベルマウス・煙道部

1ヶ月に1回程度を目安にお手入れをしてください。

汚れが気になる場合は、その都度お手入れをしてください(11~15ページ参照)。

※長期間お手入れをおこなわなかった場合、ベルマウスの中心から、リーフプレート裏などに油や水が滴下する場合があります。また、長期間お手入れをおこなわなかったあとに、リーフプレートやベルマウスなど各部品をはずす際は、油や水がこぼれやすくなっている場合があるため、油や水ダレに十分ご注意ください(13ページ参照)。

### ■ 整流板・フード・オイルパネル

1ヶ月に1回程度を目安にお手入れをしてください。

汚れが気になる場合は、その都度お手入れをしてください(11~15ページ参照)。

### ■ ファン

ファンのお手入れは、レンジフードを長期間お使いになった、汚れが目立つなど、気になった場合におこなってください(16~17ページ参照)。

## 整流板・リーフプレート・ベルマウスのはずしかた

### ⚠ 注意

- 整流板を本体から取りはずさずに、図のような状態でお手入れをしないこと  
落下によりけがをすることがあります



- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること  
落下によりけがをすることがあります



# お手入れのしかた(続き)

## 整流板・リーフプレート・ベルマウスのはずしかた(続き)

### 1 整流板をはずします。

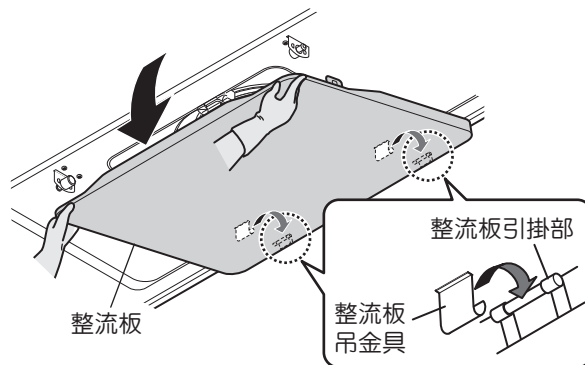
- ① 整流板の左右を両手でしっかりと支え、少し押し上げます。
- ② 左右のストッパーを押し込みながらゆっくりと10cm程度おろした状態で、整流板の後ろを持ち上げ、整流板吊金具から取りはずします。

#### ご注意

- 整流板のお手入れの際は、整流板引掛部や整流板吊金具を变形させないようにご注意ください。变形させてしまった場合、整流板が取り付けなくなることがあります。
- 取りはずしの際は、必ず左右同時にはずしてください。整流板吊金具の变形の原因となります。

#### お願い

- 取りはずしの際は、整流板に油や水滴がたまっている場合がありますので、油や水ダレに十分ご注意ください。



### 2 リーフプレートをはずします。

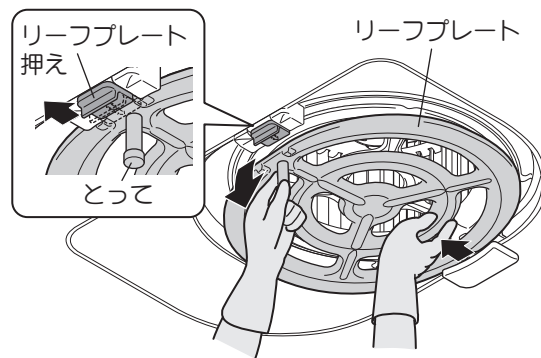
リーフプレートのとつてを持ち、リーフプレート押えを手前にスライドさせ、とつてを持つ手ともう一方の手でしっかりと支え、少し持ち上げながら、手前やや下側に引き出します。

#### ご注意

- リーフプレートは手前に引き出してください。
- リーフプレートを無理に下側に下げすぎないでください。部品の変形の原因となります。

#### お願い

- 取りはずしの際は、リーフプレートに油や水滴がたまっている場合がありますので、油や水ダレに十分ご注意ください。

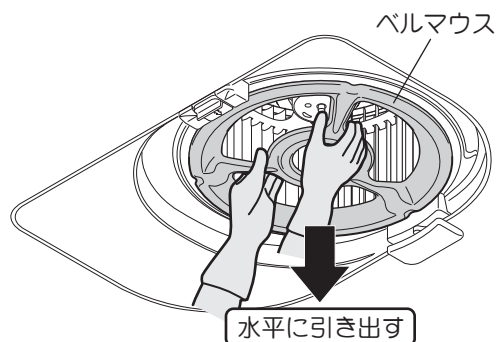


### 3 ベルマウスをはずします。

右図のように両手でしっかりと持ち、水平に保ちながら下側に引いて、本体からはずします。

#### お願い

- 取りはずしの際は、ベルマウスに油や水滴がたまっている場合がありますので、油や水ダレに十分ご注意ください。使用状況により油や水滴がたまらないこともあります。異常ではありません。



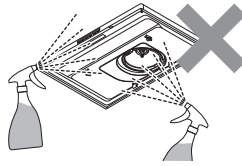
# お手入れのしかた(続き)

## 警告

- 電気部品(モーター・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと  
ショート・感電することがあります



水かけ禁止



## 注意

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります



手袋をする



## 整流板・リーフプレート・ベルマウスの洗いかた

### 整流板

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないよう、水を湿らせた布で洗剤を良くふき取ってください。

#### お願い

- はずした整流板は平らな面でお手入れをしてください。(変形・キズの原因となります。)
- 研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具(不織布など)や金属タワシなどで表面をこすらないでください。
- 有機溶剤およびアルカリ性洗剤は使用しないでください。



### リーフプレート

表面のやわらかいスポンジに中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませて洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いをし、水気を取ってから取り付けてください。

#### お願い

- 研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具(不織布など)や金属タワシなどで表面をこすらないでください。
- 有機溶剤およびアルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 汚れの落ちやすさについては、ご使用条件によって異なります。
- 油料理の頻度が高い場合や、長期間にわたりリーフプレートのお手入れをされなかった場合、リーフプレートへの油付着が多くなり、油が垂れ落ちて整流板の裏にたまる場合があります。



### ベルマウス

表面のやわらかいスポンジなどに中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませて洗ってください。

汚れがひどいときは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸しながら表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いをし、水気を取ってから取り付けてください。

#### お願い

- 研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具(不織布など)や金属タワシなどで表面をこすらないでください。
- 有機溶剤およびアルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 汚れの落ちやすさについては、ご使用条件によって異なります。
- ご使用の状況によりベルマウスに油がたまる場合があります。



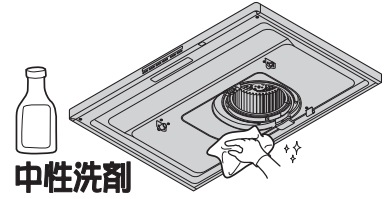
# お手入れのしかた(続き)

## フード・オイルパネル・煙道部の洗いかた

### ■ フード・オイルパネル・煙道部

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないよう、水を湿らせた布で洗剤を良くふき取ってください。

特にフードの下端部は汚れが付きやすいのでこまめにふき取ってください。



#### ご注意

- ふき掃除の際は、リーフプレート固定部のリーフプレート押えの突起にご注意ください。リーフプレートが取り付けいた状態でリーフプレート押えをずらすと、部品が落下することがあります。

#### お願い

- 研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具(不織布など)や金属タワシなどで表面をこすらないでください。
- 有機溶剤およびアルカリ性洗剤は使用しないでください。

## 整流板・リーフプレート・ベルマウスの取り付けかた

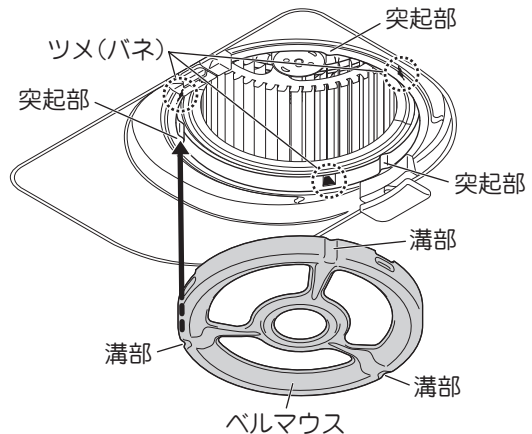
### 1 ベルマウスを取り付けます。

ベルマウスを両手でしっかりと持ち、煙道の突起部(3ヶ所)とベルマウスの溝部の位置を合わせながら突き当たるまで奥に押し込んで取り付けます。

※ 取付部に3ヶ所のツメ(バネ)があります。「カチッ」という音がするまで奥に差し込んで確実に固定してください。

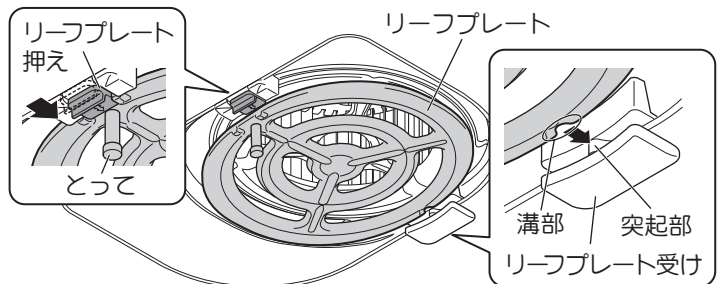
#### ご注意

- ベルマウスが3ヶ所すべてのツメ(バネ)に確実に固定されていることを確認してください。不完全な取り付けは落下の原因になります。



### 2 リーフプレートを取り付けます。

リーフプレートのとつてを持ち、もう一方の手でしっかりと支えながら、リーフプレート後部の溝部がリーフプレート受けの突起部と合うようにリーフプレートを差し込み、手前を持ち上げてリーフプレート押えをスライドさせて固定します。



### 3 整流板を取り付けます。

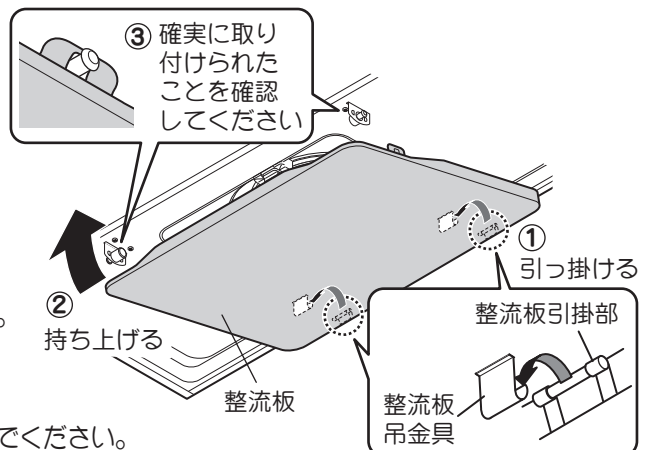
- ① 整流板の引掛部を整流板吊金具に引っ掛けます。
- ② 整流板を両手でしっかりと支えながらゆっくりと手前側を上を持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロックします。
- ③ 整流板を軽く上下に動かしてみても確実に取り付けられたことを確認してください。

#### ご注意

- 取り付けの際は、必ず左右同時に取り付けてください。整流板吊金具の変形の原因となります。

#### お願い

- 取り付けの際は、コンロ上に調理器具などを置かないでください。





# ファンのはずしかた・取り付けかた

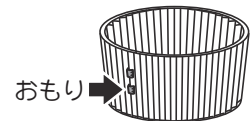
ファンのお手入れは、レンジフードを長期間お使いになった、汚れが目立つなど、気になった場合に次の手順でおこなってください。

## ファンのはずしかた

**1** 整流板・リーフプレート・ベルマウスをはずします。  
「整流板・リーフプレート・ベルマウスのはずしかた」(12~13ページ)を参照し、取りはずしてください。

**2** ファンをはずします。  
**お願い**

- ファンの回転バランスをとるために、おもり(クリップ状の金具)がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。  
(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。)



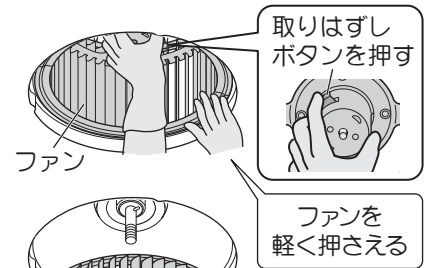
① ファン中央側面の取りはずしボタンを押し、ロックをはずします。

### ご注意

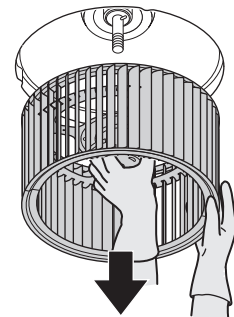
- ロックをはずすとファンが落ちますのでご注意ください。

### お願い

- ファンは軽く押さえてください。強く押さえると変形することがあります。
- ファンをぶついたり、落としたりして変形させないでください。



② ファンを両手でしっかりと持ち、下方へ取り出します。



## ファンの洗いかた

本体からはずして、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸しながら表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。

汚れがひどいときは中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きしたのち表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



### お願い

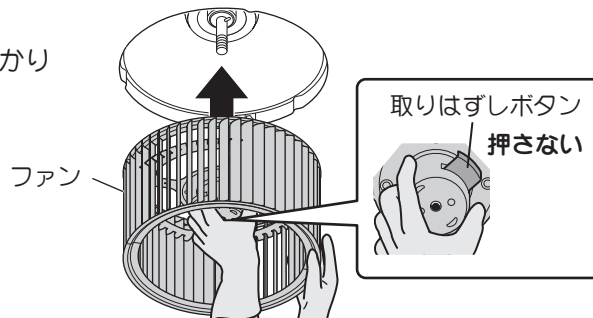
- 研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具(不織布など)や金属タワシなどで表面をこすらないでください。
- 有機溶剤およびアルカリ性洗剤は使用しないでください。
- ファンのおもりの位置をずらさないように洗ってください。
- ファンを強く押さえたり、ぶついたり、落としたりして変形させないでください。  
(異音や振動の原因となります。)

# ファンのはずしかた・取り付けかた(続き)

## ファンの取り付けかた

### 1 ファンを取り付けます。

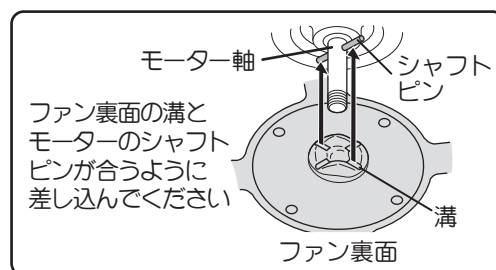
- ① 取りはずしボタンを押さずにファンを両手でしっかりと持ち、本体開口部にファンを差し入れます。



- ② ファン裏面の溝がモーター軸のシャフトピンに合うように差し込みます。

#### ご注意

- ファン裏側の溝がモーター軸のシャフトピンに合っていないと異音や落下の原因になります。



- ③ 差し込み確認ピン(赤色)が飛び出し、「カチッ」と音がするまでモーターに差し込みます。

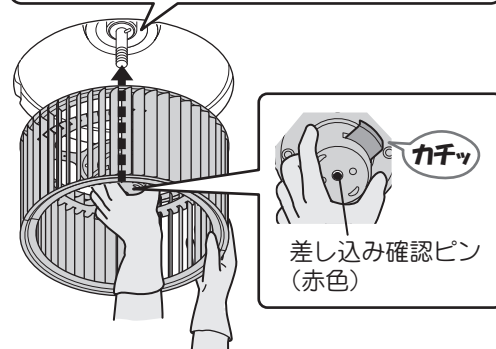
取り付け後、少しひっぱり、はずれないことを確認します。

#### ご注意

- 取り付け後は差し込み確認ピン(赤色)が飛び出していることを確認してください。またファンを少しひっぱり、はずれないことを確認してください。不完全な取り付けは落下の原因になります。

#### お願い

- ファンは軽く押さえてください。強く押さえると変形することがあります。

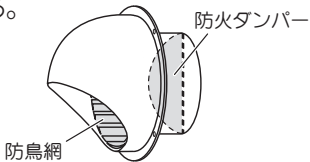


### 2 ベルマウス・リーフプレート・整流板を取り付けます。

「整流板・リーフプレート・ベルマウスの取り付けかた」(15ページ)を参照し、取り付けてください。

# 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に 次の点をもう1度お調べください。

症状	考えられる原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。</li> <li>● ファンがまわらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分電盤のブレーカーが切れている。</li> <li>● ロック状態になっている。</li> <li>● 電源プラグがはずれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分電盤のブレーカーを「入」にする。</li> <li>● ロックを解除する。(5ページ参照)</li> <li>● 電源プラグを差し込む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 照明がつかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コネクターの接触不良が、コネクターがはずれている。</li> <li>● 照明器具が寿命を迎えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 修理を依頼する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 異音がする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファンの取り付けが不十分。</li> <li>● ベルマウスの取り付けが不十分。</li> <li>● リーフプレートの取り付けが不十分。</li> <li>● 給気が十分でない。</li> <li>● 外風の影響でシャッターからパタパタと音がする場合がありますが、異常ではありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファンを取り付け直す。(16~17ページ参照)</li> <li>● ベルマウスを取り付け直す。(13・15ページ参照)</li> <li>● リーフプレートを取り付け直す。(13・15ページ参照)</li> <li>● 窓・給気口を開け十分な給気を確保する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吸い込みが悪い。</li> <li>● 運転音が異常に大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 給気が十分でない。</li> <li>● エアコンや窓からの風があたっている。</li> <li>● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。</li> <li>● 市販のフィルターを重ねている。</li> <li>● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">防火ダンパー 防鳥網</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 窓・給気口を開け十分な給気を確保する。</li> <li>● 風があたらないようにする。</li> <li>● 修理を依頼する。</li> <li>● 市販のフィルターをはずす。</li> <li>● 防鳥網をお手入れする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンスイッチを操作しても動作しない。(別売リモコンを使用している場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池が消耗している。</li> <li>● 電池の向きが間違っている。</li> <li>● リモコンの発信部やフードのリモコン受信部が油で汚れている。</li> <li>● ロック状態になっている。(ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピピッ」という音がします。)</li> <li>● リモコンからの信号がさざぎられている。</li> <li>● リモコンとレンジフードの距離が遠い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池を交換する。</li> <li>● 電池を正しく入れる。</li> <li>● 発信部・受信部を掃除する。</li> <li>● ロックを解除する。(5ページ参照)</li> <li>● リモコンの位置や向きを変える。</li> <li>● リモコンの位置を変える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転が止まらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 常時換気運転が設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 常時換気運転を使用しない場合は設定を解除する。(6ページ参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れサインが点灯しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れサインの設定が解除になっている。</li> <li>● レンジフードの使用頻度と表示時期が合っていない。</li> <li>● 壁スイッチ、電源プラグ、ブレーカーで運転を停止している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れサイン表示時期を設定する。(8ページ参照)</li> <li>● ご使用の状況に合わせたお手入れサインの表示時期の設定に変更する。(7~8ページ参照)</li> <li>● 運転入/切スイッチ、タイマースイッチで停止するが連動タイプの専用調理機器で停止する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れサインが早く点灯する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レンジフードの使用頻度と表示時期が合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご使用の状況に合わせたお手入れサインの表示時期の設定に変更する。(7~8ページ参照)</li> </ul>

(次のページへ続く)

# 故障かなと思ったら(続き)

症状	考えられる原因	処置
<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイマースイッチを押すと15分、30分からになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイマー記憶が設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイマー記憶を解除する。(6ページ参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調理機器との連動機能が反応しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くでワイヤレス発信器を操作している。(正常に動作しない場合がありますが、故障ではありません。)</li> <li>● 連動信号受信部と照明器具を近づけすぎている。</li> <li>● ロック状態になっている。</li> <li>● 整流板が正しく取り付けられていない。</li> <li>● 連動信号が物などでさえぎられている。</li> <li>● 調理機器とレンジフードの連動信号送受信部が汚れている。</li> <li>● 調理機器からの連動信号が反射できていない。(ガス調理機器などでは、連動信号を人に反射させています。)</li> <li>● 調理機器が連動機能に対応していないか、連動機能が無効になっている。</li> <li>● 調理機器の電池が消耗している。(ガス調理機器などでは、電池を使用している場合があります。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レンジフードのスイッチで操作する。(5~6ページ参照)</li> <li>● 連動信号受信部と照明器具の距離を離す。(3ページ参照)</li> <li>● ロックを解除する。(5ページ参照)</li> <li>● 整流板を正しく取り付ける。(13・15ページ参照)</li> <li>● 連動信号がさえぎられないようにする。</li> <li>● 連動信号送受信部の表面をお手入れする。</li> <li>● レンジフードの正面で調理機器のスイッチを操作する。</li> <li>● 調理機器の取扱説明書を確認し、必要に応じて修理を依頼する。</li> <li>● 調理機器の電池を交換する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調理機器を点火・消火すると照明が点灯・消灯する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 照明連動が設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 照明連動を解除する。(5・9ページ参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スwitchの操作音量が大きい、または音がしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 操作音量が切り替わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 操作音量を切り替える。(5・10ページ参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転入/切ランプとタイマーの15分表示ランプが交互に点滅する。</li> <li>● 操作スイッチを押すと「ピピピッ」と警告音が鳴る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロック状態になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロックを解除する。(5ページ参照)</li> </ul>

# アフターサービス(必ずお読みください)

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後6年間保有しています。  
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

● 製品の保証期間は、お買い上げ後、取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常のご使用状態において1年間です。

ただし、次の場合には、保証期間内でも有料になります。

(1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故および海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境により生じた故障および損傷。

(2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

(3) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。

# アフターサービス(続き)

## 修理を依頼される時は

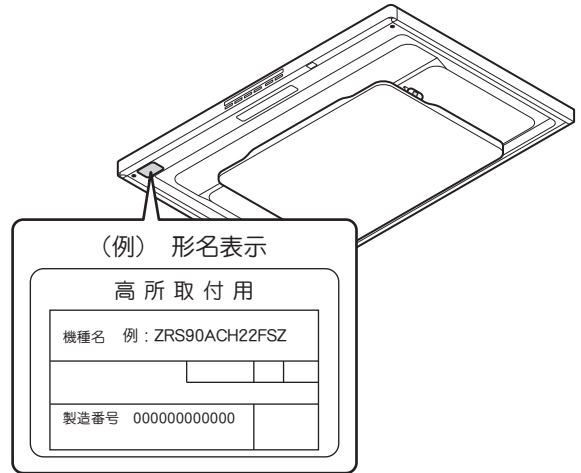
## 出張修理

18～19ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお申し出ください。

### ご連絡していただきたい内容

品名	レンジフード
形名	
製造番号	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼される時に便利です。



### 愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

### ★長年ご使用の製品の点検を

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」  
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

### ■標準使用条件

日本産業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz 又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付・設置説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 <sup>a)</sup> 台所 2 410時間/年	

注<sup>a)</sup> 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。

# 仕様

形名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量(m <sup>3</sup> /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)	
					0Pa	100Pa			
ZRS75ACH22F(S/W/T)Z ZRS90ACH22F(S/W/U/T)Z	100	強	50	115	530	450	47	17.5 (間口:750の場合)	
			60	130	460	430	46		
		中	50	74	350	-	38		19.0 (間口:900の場合)
			60	74	290	-	36		
		弱	50	40	180	-	24		
			60	39	170	-	22		
		常時	50	25	110	-	19		
			60	32	130	-	20		

形名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量(m <sup>3</sup> /h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)	
					0Pa	100Pa			
ZRS90KCJ22F(S/W/T)Z	100	強	50	115	530	450	47	20.0	
			60	130	460	430	46		
		中	50	74	350	-	38		20.0
			60	74	290	-	36		
		弱	50	40	180	-	24		
			60	39	170	-	22		
		常時	50	25	110	-	19		
			60	32	130	-	20		

消費電力、風量、騒音の測定は、JIS C 9603による。

騒音値、風量は、実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

製品質量は、レンジフード本体単体の質量を表します。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

## LED照明の交換について

LED光源は蛍光灯や電球などのようにお客様ご自身でのお取り替えはできません。

光源寿命を迎えた場合は必ず交換作業をご依頼ください。

※ LED照明は約4万時間の点灯で、約70%の照度になります。

※ 照明器具の寿命は使用条件、取付条件などにより変化します。

# 保証書

◎ 関連機器用

シリーズ・品番		ZRS75ACH22F(S/W/T)Z / ZRS90ACH22F(S/W/U/T)Z / ZRS90KCJ22F(S/W/T)Z		出張修理
保証期間		取付・設置日から1年間	★取付・設置日	年 月 日
★お客様	ご住所	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <h2 style="font-size: 2em;">見本</h2> <p>TEL ( )</p> </div>		
	お名前			
★販売店	住所 店名	(印) またはサイン		

ご販売店様へ 上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

## 無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品（照明の管球、グローランプ、パッキンなど）の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。  
例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
- (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。  
例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。  
ならびに、浄化槽や洗剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。

(10) タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など）の使用により、発生した損傷。

(11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。

(12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。

(13) 建築躯体の変形（強度不足、ゆがみ）など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。

(14) 異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧・周波数）の使用および異常水質による故障および損傷。

(15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。

(16) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。

(17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。

(18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。

(19) 本保証書のご提示がない場合。

(20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き換えられた場合。

(21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録（年月日、修理内容、修理者名など）については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口： クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

**クリナップ株式会社**

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

## ● 廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

## ● アフターサービスのご用命

●ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●お電話でのご用命

 **0120-126-174**

クリナップカスタマーセンター

通話料  
無料

●インターネット窓口(クリナップホームページ内)

<https://cleanup.jp/support/>

 右の2次元コードで[お客様サポートサイト]へ



**受付時間 9:00～17:00**

\*9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。

\*年末年始はお休みさせていただきます。

\*諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

\*インターネット窓口では、Q&A(よくあるご質問)をご紹介します。

修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。

あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

**レンジフードフィルターなどの  
訪問販売に関するご注意**

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

**クリナップ株式会社**

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

2306A-24-47